

令和4年度 事業計画

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

〈 事業方針 〉

1. 学会組織の充実

- (1) 事務局機能を強化する。
- (2) 危機管理体制を整備する。
- (3) 理事長直轄組織を活用し、機動的に事業を行う。
- (4) 委員会機能の整備と強化を図る。
- (5) 地方会との連携を強化し、地方会の活動を支援する。

2. 学会財政基盤の整備強化

安定収入の確保や事業支出の見直しなどを行い、学会財政基盤の整備強化に向けた取り組みを行う。

3. 学術活動の推進

- (1) 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会を開催する。
- (2) 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を開催する。
- (3) 地方会学術集会の開催を支援する。
- (4) 学会誌（国内誌、国際誌）を継続的に発行する。

4. 新専門医制度改革への対応

- (1) 2018年度から開始した新専門医制度におけるリハビリテーション科専門研修プログラムの調整と研修カリキュラム制による専攻医育成の制度設計を継続する。リハビリテーション科専攻医希望者の応募数を増やし、プログラムに応じて適切に採用が行われるよう体制を構築する。
- (2) 新専門医制度に対応した形で、現専門医の機構認定専門医への速やかな更新を進める。

5. リハビリテーション医学教育の充実

- (1) 卒前教育の最新状況を把握し、リハビリテーション医学の卒前教育体制を整備する。
- (2) 全国医学部リハビリテーション科連絡協議会を通じて、卒前教育に必要なリハビリテーション医学講座設置推進の取り組みを推進する。
- (3) 医学生、研修医へのセミナー実施と広報の充実を図る。
- (4) 新専門医制度を踏まえて、関連学会として設立された日本急性期リハビリテーション医学会および日本生活期リハビリテーション医学会に財政面を含めて支援を行い、研修会開催やテキスト作成を協力して実施することにより、急性期と生活期のリハビリテーション医学教育体制を整備する。

- (5) 日本リハビリテーション医学教育推進機構や関連学会と協働して、リハビリテーション科医とリハビリテーション専門職のためのテキストの発行、研修会の開催などを行い、質の高いリハビリテーション医学・医療の普及に努める。
- (6) 認定臨床医、専門医、指導医の生涯教育を充実させる。
- (7) e-learning で配信する教育コンテンツの企画・作成を行い、e-learning の充実を推進する。

## 6. 調査研究・学術事業の推進

- (1) リハビリテーション医学研究（治療法、再生医療等の先端医療開発）を推進する。
- (2) 診療ガイドラインを計画的・系統的・持続的に策定し改訂も行っていく。
- (3) 新型コロナウイルス感染症についてプロジェクト研究を行う。

## 7. 社会保障制度改革への対応と提言

- (1) 社会保障制度体系について中期的展望に立った提言を行う。
- (2) リハビリテーション医学・医療の関連団体との連携を強化し、地域包括ケアシステム、地域医療構想における中心的な役割を果たす。
- (3) 診療報酬改定および介護報酬改定に向けた対応について検討し提言する。

## 8. リハビリテーション医学・医療啓発活動

- (1) リハビリテーション医学・医療の充実・普及を図る。
- (2) 日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）と協同し、大規模災害時における被災者支援を積極的に遂行する。
- (3) パラスポーツの振興やパラリンピックへの貢献を推進する。
- (4) 市民啓発事業を実施する。

## 9. 国際化の推進

- (1) 各国研究者間の交流を促進する。
- (2) 世界各地域との連携と交流を促進する。
- (3) 国際学会への対応を強化する。

## 10. その他

本医学会の目的に沿った事業を行う。

## ＜ 事業計画 ＞

### 1. 諸会議・委員会活動

(1) 代議員総会 1回

(2) 理事会 8回

(3) 理事長直轄委員会

#### 1) パラリンピック・障がい者スポーツ委員会

##### ①医学的サポート活動

- ・パラスポーツ選手に対する医学的サポート活動
- ・メディカルチェックに関するサポート活動
- ・ドーピング管理に関するサポート活動
- ・女性パラアスリートに対する医科学的サポート活動

##### ②医学的研究活動

- ・パラスポーツの安全性に関する研究活動
- ・パラスポーツの技術力向上に関する研究活動
- ・パラスポーツの健康効果に関する研究活動
- ・女性パラアスリートのサポートに関する研究活動

##### ③広報と普及活動

- ・一般国民に対するパラスポーツの周知活動
- ・医療関係者に対するパラスポーツの周知活動
- ・障害者に対するパラスポーツの普及活動
- ・関係機関や企業との連携促進活動

#### 2) 専門医委員会

①リハビリテーション医学・医療の発展に寄与できるリハビリテーション科専門医の活動

②SIGの運営管理および活動を通して、リハビリテーション医学・医療に必要な知識・技術の普及・広報

③専門医間の交流促進

④地方会との連携

#### 3) 関連専門職委員会

①リハビリテーション専門職の教育体制の調査と把握

②リハビリテーション専門職会員の教育体制の構築

4) 学術集会検討委員会

年2回の学術集会に対する検討

5) 教材作成委員会

- ①リハビリテーション医学・医療に関する教材作成に対する日本リハビリテーション医学教育推進機構等との協働
- ②e-learning 用教材の企画・作成

6) 将来構想委員会

日本リハビリテーション医学会の将来像を討議し、必要な人材育成・組織・財政等の検討

7) 顕彰制度委員会

リハビリテーション医学・医療における学術的・社会的な貢献者を顕彰するための選考、また、男女共同参画貢献者を顕彰するための選考

(4) 各種委員会

1) 危機管理・利益相反委員会

- ①災害時等における危機管理の検討
- ②本医学会の利益相反の指針の管理と整備

2) 財務委員会

本医学会の財務体制についての検討と事業計画・収支予算案・収支決算の検討

3) 国際委員会

- ①本医学会員海外研修補助プログラムの実施
- ②外国人リハビリテーション科医対象の短期交流補助プログラムの実施
- ③Honorary/Corresponding Member の選出
- ④英文ホームページの整備
- ⑤英文 Annual report の作成
- ⑥世界、特にアジア諸国の実態把握と協力関係促進
- ⑦ISPRM2022 への貢献 (ISPRM2021 は 2022 年に延期)
- ⑧リハビリテーション医学関連の各種国際会議の情勢調査
- ⑨海外への日本のリハビリテーション医療における COVID-19 対策の紹介

4) 教育委員会

- ①リハビリテーション科医養成
  - ・卒前のリハビリテーション医学教育カリキュラムの標準化に関する検討

- ・初期臨床研修医研修カリキュラムにおけるリハビリテーション医学・医療の位置づけに関する検討
- ・専攻医教育体制の整備（システム電子化）・支援活動
- ・リハビリテーション科転向希望医師への支援活動

## ②生涯教育

- ・生涯教育に関する研修会・講習会の開催支援および審査  
生涯教育研修会（領域講習）  
指導医講習会  
専門医共通講習会（必修講習 A、必修講習 B、任意講習 C）
- ・専門医受験者への支援
- ・関連学会の審査

## 5) 広報委員会

- ①学会誌 JARM NEWS での Topics・Report・基幹研修施設インタビューなどの担当
- ②ホームページの管理とアップデート
- ③専門医リスト・認定臨床医リストのアップデート
- ④記者懇談会の実施
- ⑤広報パンフレット第 5 版の作成
- ⑥日本リハビリテーション医学会ニュース NEXT!3 号の作成
- ⑦医学生・研修医向けパンフレットの作成

## 6) 会則検討委員会

- ①規則、内規、申し合わせ等の諸会則の整理と会則間の整合性の調整
- ②医師以外の正会員および専門職会員候補者の適正な入会事前審査
- ③その他諸会則に関わる必要事項の検討

## 7) 倫理委員会

- ①本医学会が行う事業・運営方法および制定する規則の倫理的問題の審議
- ②マスコミ等を含め社会から要請のあった倫理的問題の審議
- ③会員の除名に関する倫理的問題の審議
- ④会員の研究、診療に関する倫理的疑義の審議
- ⑤本医学会で行う委員会活動で生じる倫理的問題に関する支援
- ⑥学会誌投稿規程の倫理的問題に関する支援
- ⑦その他、理事長から諮問のあった事項の審議

## 8) 選挙制度委員会

本医学会における代議員選挙、役員選挙制度について評価検討を行い、必要に応じて改善案を提言

9) 選挙管理委員会

本医学会における代議員選挙、役員選挙に関する事務

1 0) 専門医制度委員会

新専門医制度の課題についての検討

1 1) 試験委員会

- ①専門医試験、認定臨床医試験の実施
- ②専門医試験、認定臨床医試験の筆記試験問題作成
- ③専門医試験における口頭試験の標準問題の作成
- ④専門医試験口頭試験の採点基準の検討
- ⑤実施した筆記試験問題の適正化に関する検討
- ⑥実施した試験問題および予備問題を保存・管理
- ⑦新作問題作成および会員への作成依頼

1 2) 認定委員会

＜ 資格認定小委員会 ＞

- ①専門医の認定および更新に関する審査
- ②認定臨床医の認定および更新に関する審査
- ③指導医の認定および更新に関する審査
- ④新専門医制度に関する資格要件や規則の改正

＜ 施設認定小委員会 ＞

- ①研修施設の認定および更新に関する審査
- ②新専門医制度による研修プログラムの認定・更新制度の検討および規則改正等の検討

1 3) 先端医療・機器委員会

- ①脊髄再生治療に関する情報収集とリハビリテーション医療の役割についての検討
- ②ロボット、AI、IoT、AR&MR のリハビリテーション医療への応用促進
- ③軟骨再生医療に関する情報収集とリハビリテーション医療の役割についての検討
- ④各団体からのリハビリテーション医療関連機器に関する依頼や問い合わせへの対応
- ⑤リハビリテーション先端機器研究会の共同運営
- ⑥リハビリテーション医療関連機器に関する情報発信

1 4) 障害者福祉委員会

- ①障害者の社会活動支援に関する事業
- ②障害者施策の動向と関連制度等の検討
- ③補装具・福祉用具に関する事業
- ④広報活動

#### 1 5) 社会保険委員会

- ①2022 年度診療報酬改定の検証およびアンケート調査の実施
- ②2024 年度介護報酬改定に対する意見の聴取および集約  
(学会員からのアンケート調査)
- ③2024 年度診療報酬改定に関する内保連・外保連への参加・連携・意見交換
- ④内保連リハビリテーション関連委員会における関連学会との意見調整
- ⑤2024 年度介護報酬改定に対する意見聴取および集約  
(学会員からのアンケート調査)
- ⑥2024 年度診療報酬・介護報酬同時改定における全国リハビリテーション医療関連団体協議会など関連協議会への参加・連携・意見交換

#### 1 6) 男女共同参画委員会

- ①学術集会におけるシンポジウム開催 (年次・秋季、年 2 回)
- ②学術集会における日本医師会共催セミナーの開催 (秋季、年 1 回)
- ③インタビュー企画 (年 2 回、ホームページ)
- ④「達人の流儀」冊子刊行 (隔年)
- ⑤男女共同参画実態調査 (他学会・会員)
- ⑥男女共同参画に関する発信 (ホームページ)
- ⑦男女共同参画推進のための交流会開催
- ⑧他学会・団体における男女共同参画部門との連携
- ⑨RJN との連携
- ⑩顕彰制度委員会への男女共同参画貢献者の推薦

#### 1 7) 国内誌編集委員会

- ①日本のリハビリテーション医学の発展のために、教育・研究・啓発活動を含めた学術的情報を広く発信する質の高い学会誌の発行
- ②本医学会の広報活動に寄与し、各種情報を学会誌に掲載するとともに、学会誌の普及を推進
- ③日本の医学における基本領域の公式ジャーナルとしての役割を果たせるように紙面の量・質を充実

#### 1 8) 国際誌編集委員会

- ①国際誌としての対外的評価向上
- ②国際誌の impact factor の取得
- ③質の高い論文の投稿数増加
- ④国際誌論文賞対象論文の選定

#### 1 9) 診療ガイドライン委員会

- ①既刊ガイドラインの改定作業
- ②新規ガイドライン企画・検討

- ③新規ガイドラインの策定作業
- ④他学会、他職種のガイドラインに関する情報収集

## 2 0) 研修会等委員会

- ①実践リハビリテーション医学研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共同開催
- ②急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構および日本急性期リハビリテーション医学会と共同開催
- ③回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共同開催
- ④生活期リハビリテーションにかかわる医師のための研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構および日本生活期リハビリテーション医学会と共同開催
- ⑤実習研修会の開催を日本リハビリテーション医学教育推進機構と共同で支援

## 2 1) 評価・用語委員会

- ①リハビリテーション医学用語に関する事業
- ②一般市民に対する広報活動
- ③評価法動向調査（評価データベース）に関する事業
- ④広報活動

## 2 2) ICFデータマネジメント委員会

- ①ICFを組み込んだ新規戦略的データベースの準備
- ②小児データベースの運用・管理
- ③日本リハビリテーション・データベース協議会（JARD）より得られたデータの活用
- ④統計学講座の開催

## 2. 財政基盤の整備

安定した財政基盤の確立のため、引き続き財務委員会において財政状況の分析および検討を行う。

## 3. 学術集会の開催

- (1) 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会を、2022年6月23日（木）から6月25日（土）の3日間、パシフィコ横浜において開催。
- (2) 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を、2022年11月4日（金）から6日（日）の3日間、岡山コンベンションセンター他において開催。

## 4. 会誌の発行

- (1) 会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年12号（第59巻第4号～第12号、第60巻第1号～第3号）、1号あたり約12,000部発行する。これらはオンラインジャーナルとしても刊行する。



- (2) また、英文 journal 「Progress in Rehabilitation Medicine」 への論文収載を充実し、Impact Factor の取得に向けた活動を開始する。

## 5. 新専門医制度に向けた取り組み

専門医制度委員会を中心に、新専門医制度に対応する「専門研修プログラム」の整備、地方への拡充、研修カリキュラム制による専攻医育成の制度設計等を引き続き行い、専攻医募集活動を積極的に行う。「専門医機構専門医の更新」「学会認定専門医の機構専門医への移行推進」「指導医の資格認定と更新」の作業を行う。また、専攻医の研修カリキュラム進捗状況が把握できる会員管理システムの運用を行う。

## 6. 認定臨床医の認定および資格更新

- (1) 認定臨床医の審査認定を行う。
- (2) 認定臨床医の資格更新審査を行う。

## 7. 専門医の認定および資格更新

- (1) 専門医（リハビリテーション科専門医）の認定審査を行う。
- (2) 専門医の資格更新一次審査を行い、日本専門医機構に申請する。

## 8. 指導医の認定および資格更新

- (1) 指導医の認定審査を行う。
- (2) 指導医の資格更新審査を行う。

## 9. 研修施設の認定および資格更新

- (1) 専門研修プログラム認定の一次審査を行い、日本専門医機構に申請する。
- (2) 専門研修プログラムの変更届の一次審査を行い、日本専門医機構に申請する。
- (3) 研修施設の認定審査を行う。
- (4) 研修施設の資格更新を行う。

## 10. 教育活動

### (1) 実習研修会

次の8種9研修会の開催支援を行う。

- 1) 義手・義足適合判定医師研修会アドヴァンスト・コース
- 2) 小児のリハビリテーション医療実習研修会
- 3) 臨床筋電図・電気診断学入門講習会
- 4) 摂食嚥下障害実習研修会（1回目、2回目）
- 5) 職業リハビリテーション研修会
- 6) 脊損尿路管理研修会
- 7) リハビリテーション医療に活かすコーチング研修会
- 8) 実習研修「動作解析・運動学実習」

(2) 学術集会における教育活動

第59回日本リハビリテーション医学会学術集会における教育講演・講演会等を、2022年6月23日（木）から25日（土）の3日間、パシフィコ横浜において行う。

(3) 秋季学術集会における教育活動

第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会における教育講演・講演会等を、2022年11月4日（金）から6日（日）の3日間、岡山コンベンションセンター他において行う。

(4) 実践リハビリテーション医学研修会

「切断・リウマチ性疾患・骨粗鬆症」「集中治療室におけるリハビリテーション診療（栄養管理・熱傷/褥瘡を含む）」「リハビリテーション医学に必要な基礎科学」の3研修会を開催する。

(5) 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会を日本急性期リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション医学教育推進機構と協力して開催する。

(6) 回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会を日本リハビリテーション医学教育推進機構と協力して開催する。

(7) 生活期のリハビリテーション医療にかかわる医師のための研修会を日本生活期リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション医学教育推進機構と協力して開催する。

(8) 「総合力がつくりリハビリテーション医療・医学研修会」を日本リハビリテーション医学教育推進機構と協力して開催する。

(9) 医学生・研修医リハビリテーション医学セミナー

医学生、研修医、転科を考えている他科の医師に向けた「リハビリテーション科医になろうセミナー」を複数回開催する。

(10) 各種講習会

専門医受験支援講習会、指導医講習会、医療倫理・医療安全・感染対策講習会を開催する。

(11) リハビリテーション処方に関する研修会

診療報酬の改定に合わせ、リハビリテーション処方に関する各種研修会を開催する。

## 11. 研究・学術事業

(1) 新型コロナウイルス感染症のプロジェクト研究を引き続き進める。

(2) 優秀論文に対する表彰を行う。

- (3) 若手研究者の国際学会参加を支援する。
- (4) 外国人リハビリテーション科医の支援を行う。

## 1 2. ホームページの管理運営

- (1) 掲載内容の更新、追加などを実施する（適宜内容の見直しやトップページを含めた内容の整理を行う）。
- (2) 英文ホームページの内容を充実する。
- (3) 会員用 Web システムの有効活用および I T 化を推進する。
- (4) 会員に対して実用的な情報提供の場となるホームページの管理を推進する。

## 1 3. 広報誌の発行を含むリハビリテーション医学・医療啓発活動

- (1) 本医学会パンフレット、日本リハビリテーション医学会ニュースNEXT!、医学生・研修医向けパンフレットを発行し、会員および医療関連従事者への広報を充実する。
- (2) 市民公開講座の開催や全国紙における情報発信を行い、リハビリテーション医学・医療の啓発活動を進める。

## 1 4. 国際交流

- (1) ISPRM、AOSPRM 等の活動に参加する。
- (2) アジア地域での交流活動を行う。

## 1 5. 利益相反マネジメントの推進

本医学会 COI 管理ガイドラインに従い、利益相反マネジメントの推進と会員への啓発を図る。

## 1 6. その他

リハビリテーション医学・医療に関連する団体の主催する各種事業の後援、協賛等を行う。

令和4年度(2022年度)収支予算書 内訳表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科目	公益目的事業	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	90,170,000	90,170,000	180,340,000
正会員受取会費	86,250,000	86,250,000	172,500,000
賛助会員受取会費	2,800,000	2,800,000	5,600,000
専門職会員受取会費	720,000	720,000	1,440,000
臨時会員受取会費	400,000	400,000	800,000
② 事業収益	362,739,000		362,739,000
学術集会事業収益	309,939,000		309,939,000
第59回学術集会	241,269,000		241,269,000
第6回秋季学術集会	68,670,000		68,670,000
会誌等発行事業収益	7,700,000		7,700,000
会誌広告料	1,000,000		1,000,000
会誌販売収益	4,000,000		4,000,000
著作権料収入他	2,500,000		2,500,000
論文掲載料	200,000		200,000
専門医等認定事業収益	26,500,000		26,500,000
審査料	7,900,000		7,900,000
登録料	3,200,000		3,200,000
更新料	15,400,000		15,400,000
研修会事業収益	18,100,000		18,100,000
生涯教育研修会認定料	1,600,000		1,600,000
病態別実践リハ研修会	3,000,000		3,000,000
臨床研修医医師向けリハ研修会	0		0
急性期等リハ医師研修会	13,500,000		13,500,000
e-learning事業収益	500,000		500,000
証明書等収益	0		0
③ 基本財産運用益	3,400		3,400
基本財産受取利息	2,000		2,000
学術研究助成基金受取利息	1,400		1,400
④ 民間助成金収益	4,200,000		4,200,000
⑤ 寄附金収益	500,000		500,000
⑥ 雑収益	52,000		52,000
受取利息	2,000		2,000
雑収益	50,000		50,000
経常収益計	457,664,400	90,170,000	547,834,400
(2) 経常費用			
事業費			
第59回学術集会事業費	200,928,254		200,928,254
第6回秋季学術集会事業費	65,109,290		65,109,290
会誌発行費	60,296,400		60,296,400
英文ジャーナル発行費	17,885,681		17,885,681
広報誌発行費	4,100,000		4,100,000
各種委員会旅費・会場費	5,963,470		5,963,470
各種委員会経費	12,042,000		12,042,000
専門医等認定事業費	16,270,000		16,270,000
研修会事業費	7,520,000		7,520,000
臨床研修医等医師向け研修会	2,770,000		2,770,000
病態別実践リハ研修会	1,450,000		1,450,000
急性期等リハ医師研修会	3,300,000		3,300,000
e-learningコンテンツ制作費	9,200,000		9,200,000
海外研修補助金	3,600,000		3,600,000
優秀論文表彰金	600,000		600,000
啓発活動事業費(市民公開講座)	1,500,000		1,500,000
地方会事務局運営補助金	7,960,000		7,960,000
会員名簿作成費	50,000		50,000
診療ガイドライン策定費	805,000		805,000

(単位:円)

科目	公益目的事業	法人会計	合計
用語集作成費	8,500,000		8,500,000
国際化推進費	0		0
新型コロナウイルス感染症プロジェクト研究補助金	200,000		200,000
給料手当	15,660,000		15,660,000
退職給付費用	589,860		589,860
福利厚生費	2,349,000		2,349,000
旅費交通費	1,305,000		1,305,000
HP維持管理費	1,096,200		1,096,200
通信運搬費	3,132,000		3,132,000
情報関連整備費	1,044,000		1,044,000
什器備品費	43,500		43,500
消耗品費	217,500		217,500
印刷製本費	1,305,000		1,305,000
光熱水料費	522,000		522,000
賃借料	13,050,000		13,050,000
租税公課	3,306,000		3,306,000
負担金	15,660,000		15,660,000
業務委託費	41,760,000		41,760,000
支払手数料	1,566,000		1,566,000
減価償却費	6,264,000		6,264,000
雑費	1,740,000		1,740,000
管理費		22,527,940	
給料手当		2,340,000	2,340,000
退職給付費用		88,140	88,140
福利厚生費		351,000	351,000
代議員総会費		1,000,000	1,000,000
選挙関係費用		1,000,000	1,000,000
理事会費		2,000,000	2,000,000
旅費交通費		195,000	195,000
顧問料		2,000,000	2,000,000
HP維持管理費		163,800	163,800
通信運搬費		468,000	468,000
情報関連整備費		156,000	156,000
什器備品費		6,500	6,500
消耗品費		32,500	32,500
印刷製本費		195,000	195,000
光熱水料費		78,000	78,000
賃借料		1,950,000	1,950,000
租税公課		494,000	494,000
負担金		2,340,000	2,340,000
業務委託費		6,240,000	6,240,000
支払手数料		234,000	234,000
減価償却費		936,000	936,000
雑費		260,000	260,000
経常費用計	533,140,155	22,527,940	555,668,095
当期経常増減額	△ 75,475,755	67,642,060	△ 7,833,695
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			△ 7,833,695
一般正味財産期首残高			378,222,489
一般正味財産期末残高			370,388,794
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
Ⅲ. 正味財産期末残高			370,388,794